

エプロンシアター「吸わないよ 1本も」シナリオ

制作 久保恭子

- ナレーター： ここは動物村です。ぞう君とうさぎ君はきつねちゃんの家へ遊びに行きました。
- ぞう： こんにちは。
- きつね： こんにちは。ねえねえ、何して遊ぶ？まんが本もテレビゲームもあるよ。
- うさぎ： ぼく、ゲームボーイアドバンス持ってきたよ。
- きつね： あそぼ、あそぼ。
- ぞう： うん。遊ぼう！
- きつね： (タバコを持ってくる) ねえねえ見て。ほら、これ。
- ぞう： な、な、何それ。タバコじゃない。どうしたの？
- きつね： お父さんの部屋にあったんだよ。この間取ってきたんだ。
- うさぎ： そういえばきつねちゃんのお父さん、タバコ吸うんだよね。
- きつね： うん。お父さん、タバコを吸う時「ふう〜」ってとても気持ち良さそうに吸うんだ。だから私もタバコを吸ってみたいくなっちゃって、吸ってみたんだよ。うさぎくんも吸ってみたい？
- うさぎ： え、え、ぼ、ぼ、ぼくはいいよ〜
- きつね： なに言ってるんだよ。みんなで吸えば怖くないよ。1本だけ吸ってみな。
- うさぎ： う〜ん。(タバコを吸う) ゴホゴホ・・・
- きつね： はじめはゴホゴホするけどそのうち慣れるよ。ぞう君も吸ってみな。
- ぞう： ぼ、ぼ、ぼくはいいよ〜。
- うさぎ： なにいい子ぶってるんだよ。ひきょうだよ。
- きつね： そうだそうだ。みんなで吸えば怖くないよ。1本だけ吸ってみなよ。
- ぞう： う、う、ぼくは・・・
- きつね： ほ〜ら。
- ぞう： (タバコを口につけて捨てる) いやだ！ぼくはいやだ。帰る。
- きつね： なんだ。ぞうって勇気のないやつなんだな。
- ナレーター： その夜ぞうくんは夢を見ました。

タバコ大魔王の場面に変える。手にタバコ大魔王をつける。

- ぞう： わ、ここはどこだ。真っ暗だぞ。
- 大魔王： わっはっは。ここはおれ様の住みかじゃ。
- ぞう： わ〜怖いなあ。おまえはだれだ。
- 大魔王： おれ様か？おれ様はタバコ大魔王じゃ。
- ぞう： なんだって？
- 大魔王： おまえもタバコを吸うとおれ様の仲間になれるぞ。
- ぞう： おまえの仲間になんかなってどうするんだよ。
- 大魔王： おれ様の仲間になって、世界中にタバコを広めるんだ。そしてみんなをタバコ病にして死なせてしまうんじゃ。この世に残るのはおれ様だけってわけさ。はっはっは。うさぎもきつねもここで暮らしているんじゃ。
- ぞう： なんだって？うさぎくんもきつねちゃんもここにいるのかい？お家へかえしてよ。
- 大魔王： それは無理じゃな。1本でもタバコを吸うと、もう死ぬまでタバコをやめられないんじゃ。うさぎもきつねも毎日毎日タバコを吸っておるよ。
- ぞう： え〜。
- 大魔王： 早くおまえもタバコを吸うんじゃ。そしたらおれ様の仲間になれるぞ。
- ぞう： いやだ〜。ぼく、お家に帰りたいよ。早く帰してよ。

大魔王 : 早くタバコを吸え。早く吸うんじゃ。1本だけでいいんじゃ。早く吸え。
ぞう : いやだ、いやだ。こわいよ～えーん、えーん。

大魔王を外して、森の場面に変える

父ぞう : ぞう太や、ぞう太、大丈夫かい？夢でも見たのか？うなされてたよ。
ぞう : お父さん、こわいよ～、えーんえーん。
ナレーター : そこでぞう君は、今まであったことをお父さんに話しました。
父ぞう : そうだったのか。きつねちゃんもうさぎ君もタバコを吸っているのか。
ぞう : うん。ぼくも誘われたんだけど、いやだ、って断ったんだ。そしたらぼくの事、勇気のないヤツだって。
父ぞう : そうか。タバコを断ったのは偉かったぞ。それに、タバコを吸う人が勇気があるんじゃないなくて、「嫌だ」って断る人が本当の勇気がある人なんだよ。
ぞう : お父さん、きつねちゃんとうさぎくん、どうしよう。ぼく友達だからほっとけないよ。
父ぞう : そうだな。じゃあ、明日お医者さんのところへ行って3人でタバコの話聞いておいで。ゆっくり話を聞いて来るんだよ。
ぞう : うん、わかった。

ナレーター : そうして次の日、3匹はお医者さんのところへ行きました。

ぞう : 先生、こんにちは。
医者 : こんにちは。
ぞう : タバコについて教えてください。
医者 : はい。タバコについて教えてあげるから、よく聞いててね。この1本のタバコの中には何十種類、何百種類という毒が含まれてるんだよ。(一つずつ貼りながら)ニコチン、一度吸うとやめられなくなります。タール、がんの元になります。一酸化炭素、体の中の酸素を運びにくくします。このように、毒のあるタバコを毎日吸い続けると、からだの中がどうなっていくのかな。(パネルを見せながら)きれいな肺も毎日タバコを吸うと真っ黒になって、肺がんになってしまいます。血管が詰まって血液が流れにくくなり、指の先が腐ってしまいます。こわいですね。この男の子は子どもの頃からタバコを吸っていたために、17歳になった頃には顎のがんになってしまいました。そして、手術であごの骨をとってしまったのです。
タバコっていうのはね、吸っている人だけではなく、周りの人のも同じように害を与えるのよ。でもね、きつねちゃん、タバコをやめる方法を教えてあげるから、お家の人と一緒にもう一度明日、先生のところへいらっしゃい。待ってるからね。
きつね : はい。分かりました、先生。どうもありがとうございます。さようなら。(医師帰る)
あ～こわかった。こわかった。

ナレーター : こうしてきつねちゃんは次の日、お医者さんのところへ行き、タバコをやめたのです。

ぞう : ねえ、ねえ、みんな。もうタバコは絶対に吸わないでね。
きつね : うん、もう絶対タバコは吸わないよ。さあ、外で元気に遊ぼう。
うさぎ : うん。

ナレーター : こうしてタバコを捨てた3匹は外で元気に遊びました。よかったね。今日のお話はこれでおしまいです。